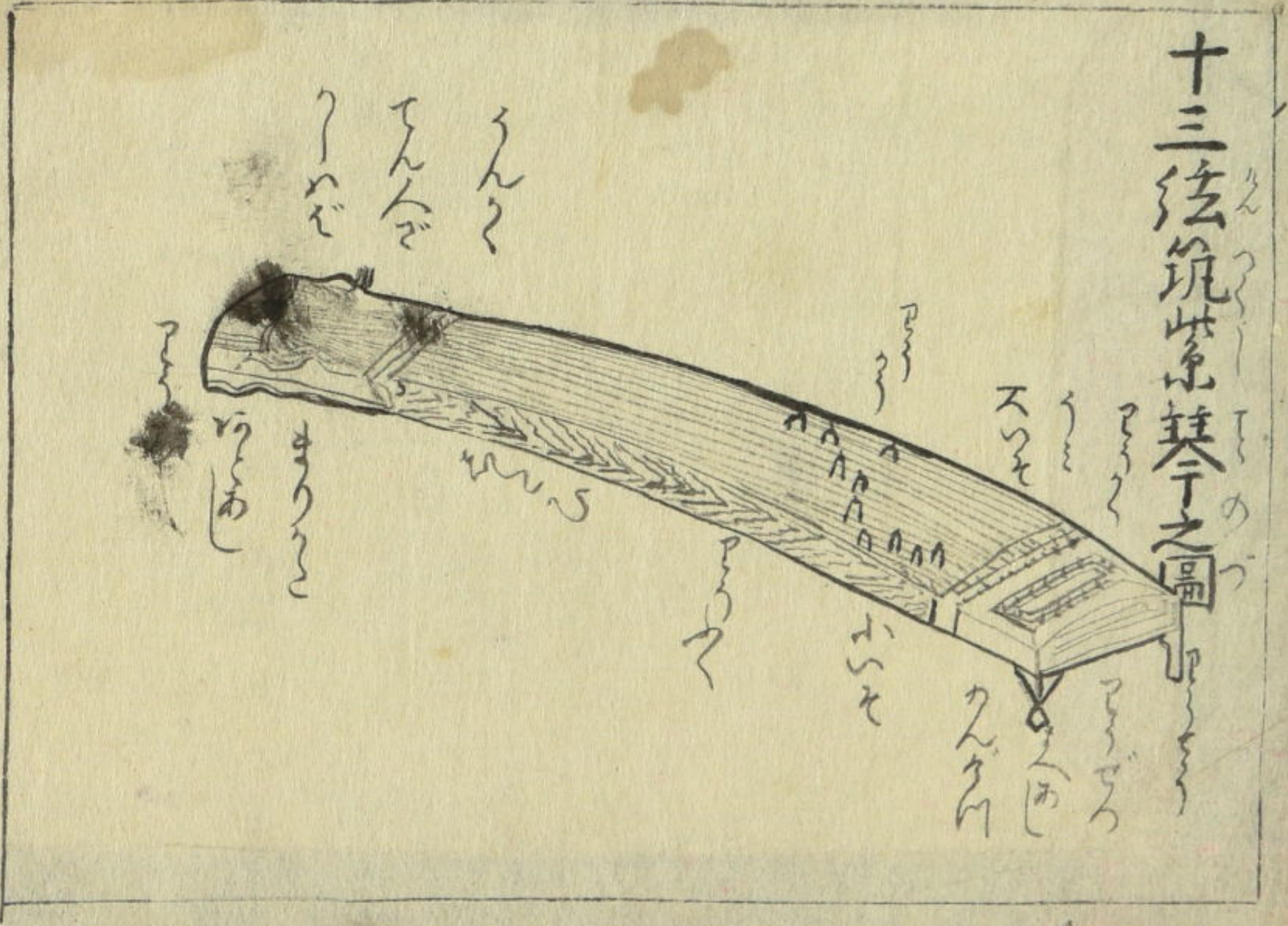
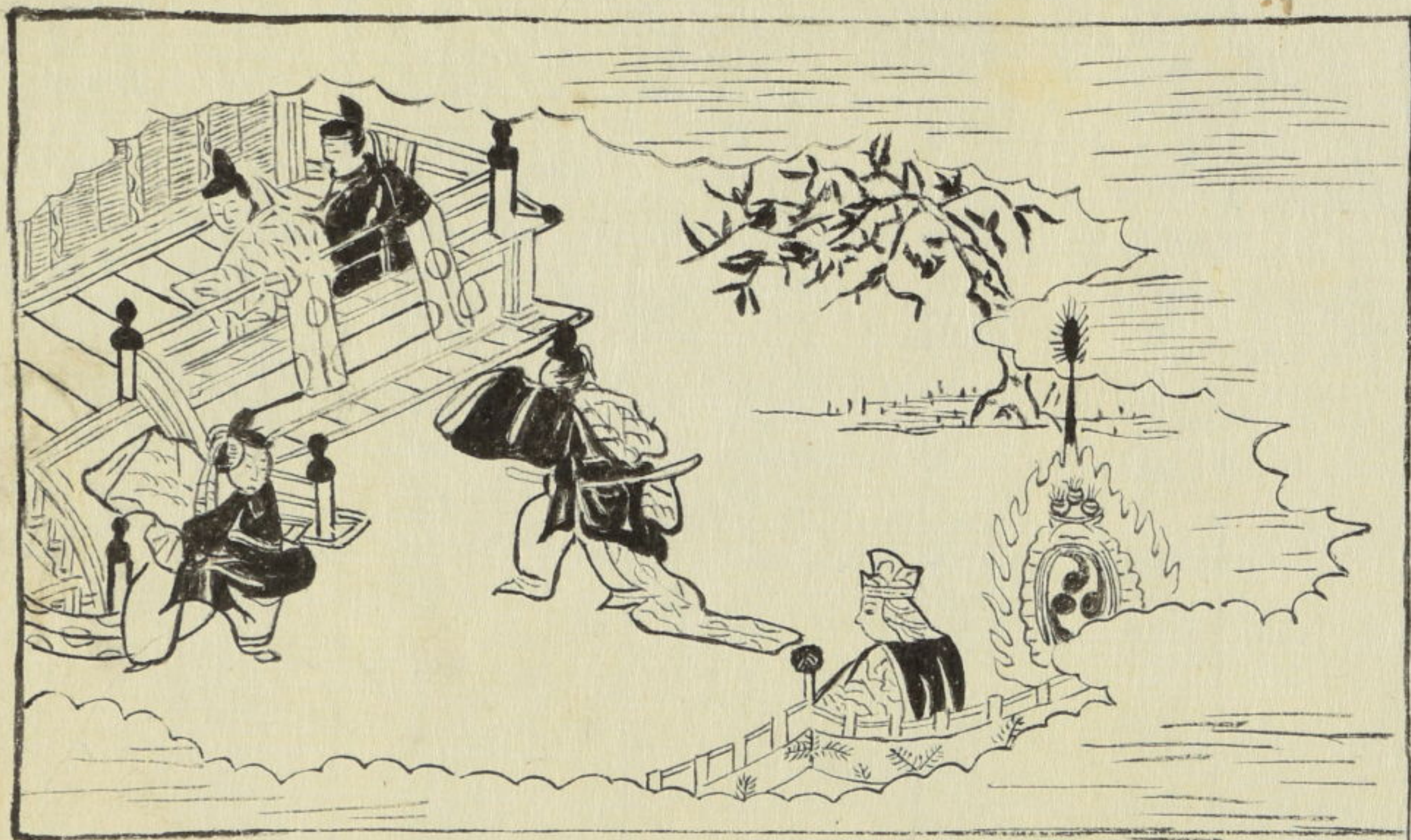




十三絃筑紫琴之圖
 天華於此...
 樂之入...
 習...
 之味...
 人...





寶曆五いの春

新豊立亭主人



撫公筆指譜集上之卷

表操目錄

葉落 *Haru no Fuyu*

梅の枝 *Ume no Eda*

心盡 *Shin no Karu*

天下太平 *Tenka Taihei*

薄雪 *Uyuki no Yuki*

雪見 *Yuki no Mi*

六段調子

右表組

葉落

① 秋の風 *Aki no Kaze*

② 梅の花 *Ume no Hana*

③ 雪の降 *Yuki no Furu*

④ 春の来 *Haru no Kuru*

⑤ 春のぬ *Haru no Nu*

⑥ 春の来 *Haru no Kuru*

五十五ヶ合
 五十六ヶ合
 五十七ヶ合
 五十八ヶ合
 五十九ヶ合
 六十ヶ合
 六十一ヶ合
 六十二ヶ合
 六十三ヶ合
 六十四ヶ合
 六十五ヶ合
 六十六ヶ合
 六十七ヶ合
 六十八ヶ合
 六十九ヶ合
 七十ヶ合
 七十一ヶ合
 七十二ヶ合
 七十三ヶ合
 七十四ヶ合
 七十五ヶ合
 七十六ヶ合
 七十七ヶ合
 七十八ヶ合
 七十九ヶ合
 八十ヶ合
 八十一ヶ合
 八十二ヶ合
 八十三ヶ合
 八十四ヶ合
 八十五ヶ合
 八十六ヶ合
 八十七ヶ合
 八十八ヶ合
 八十九ヶ合
 九十ヶ合
 九十一ヶ合
 九十二ヶ合
 九十三ヶ合
 九十四ヶ合
 九十五ヶ合
 九十六ヶ合
 九十七ヶ合
 九十八ヶ合
 九十九ヶ合
 百ヶ合

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 百

梅の夜いぬ

① じゅんがえさるる花
うたひしあはすはらへ
花あやむいふらん
花ふさるるさびす
② 風らるるのほ
③ じゅんがえさるる花
うたひしあはすはらへ
花あやむいふらん
花ふさるるさびす

花をそら花の

乃ふ山いせ九三を

はる

はらぬのめえ

まふらぬめ

さえてはるの

いさるるさびす

わがはら
すなはて八
ね

④
ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ

⑤
ふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふ

又
何
を
三
行
の
中
に
記
す

⑥
んはのねがふふふふ
んはのねがふふふふ

あきつふふふふふふ
あきつふふふふふふ

水ふふふふふふふふ
水ふふふふふふふふ

りんふふふふふふふ
りんふふふふふふふ

あつらひん
おき
おき
おき

⑤ 福 あつらひん
あ おき
は おき
ひ おき
へ おき
ほ おき
ぶ おき
ぶ おき
ぶ おき

④ ち おき
り おき
り おき
り おき
り おき
り おき
り おき
り おき
り おき

ちりりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり

りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり

りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり

りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり

りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり

りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり

りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり
りりりりりりりり

三
九 行 見
二十 ほのろくし
二十 月法いそ
二十 ことく
八十 午とぬ
二十 心
二十 花はえん

四
五 ねづき月ね
二十 ねづき
二十 んえん
二十 すま
二十 かさ
二十 神の

五
 住
 傷
 川

七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

そら（八十八）の（八十九）け（九十）ば（九十一）の（九十二）う（九十三）せ（九十四）
わ（九十五）り（九十六）の（九十七）し（九十八）ら（九十九）と（百）と（百一）と（百二）
は（百三）ら（百四）の（百五）し（百六）ら（百七）と（百八）
は（百九）ら（百十）の（百十一）し（百十二）ら（百十三）と（百十四）
は（百十五）ら（百十六）の（百十七）し（百十八）ら（百十九）と（百二十）
は（百二十一）ら（百二十二）の（百二十三）し（百二十四）ら（百二十五）と（百二十六）
は（百二十七）ら（百二十八）の（百二十九）し（百三十）ら（百三十一）と（百三十二）
は（百三十三）ら（百三十四）の（百三十五）し（百三十六）ら（百三十七）と（百三十八）
は（百三十九）ら（百四十）の（百四十一）し（百四十二）ら（百四十三）と（百四十四）
は（百四十五）ら（百四十六）の（百四十七）し（百四十八）ら（百四十九）と（百五十）

は（五十一）ら（五十二）の（五十三）し（五十四）ら（五十五）と（五十六）
は（五十七）ら（五十八）の（五十九）し（六十）ら（六十一）と（六十二）
は（六十三）ら（六十四）の（六十五）し（六十六）ら（六十七）と（六十八）
は（六十九）ら（七十）の（七十一）し（七十二）ら（七十三）と（七十四）
は（七十五）ら（七十六）の（七十七）し（七十八）ら（七十九）と（八十）
は（八十一）ら（八十二）の（八十三）し（八十四）ら（八十五）と（八十六）
は（八十七）ら（八十八）の（八十九）し（九十）ら（九十一）と（九十二）
は（九十三）ら（九十四）の（九十五）し（九十六）ら（九十七）と（九十八）
は（九十九）ら（百）の（百一）し（百二）ら（百三）と（百四）
は（百五）ら（百六）の（百七）し（百八）ら（百九）と（百十）

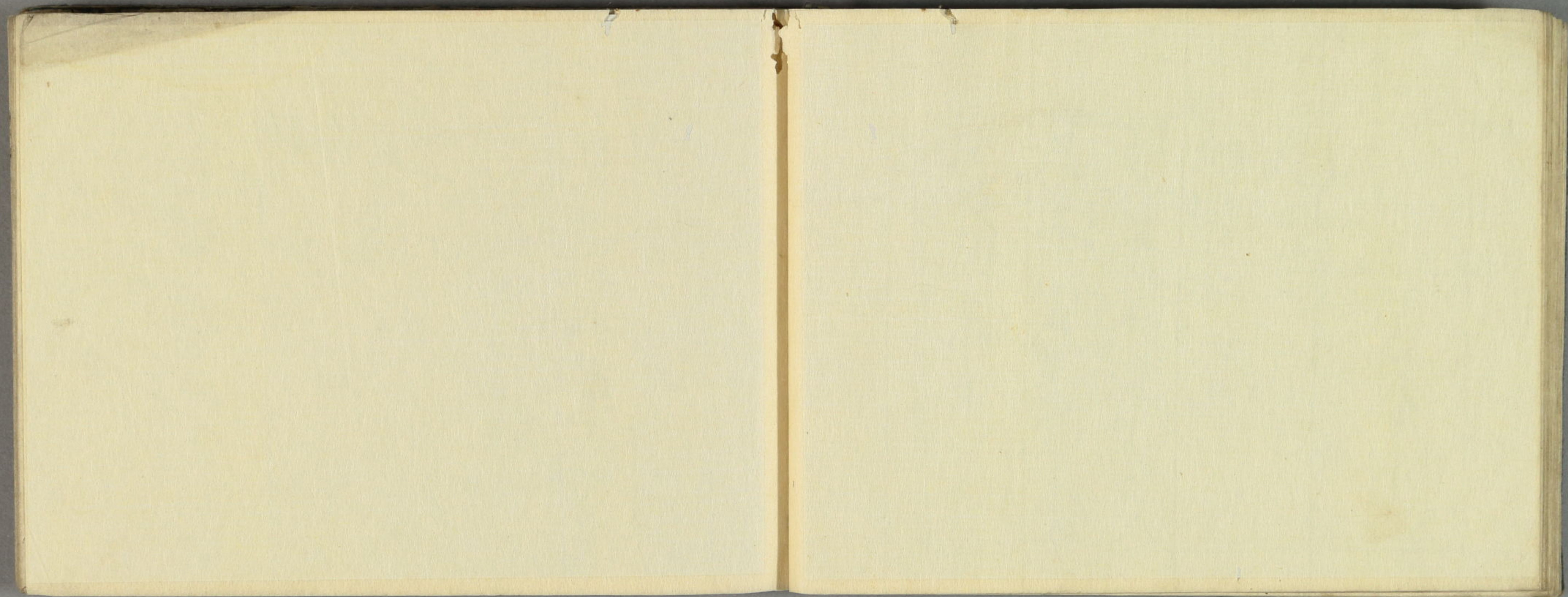
四二五五
 海らえーあんあ
二五
 二ふは
二五
 三
 わさきーやこさか
二二九
二二八二
 くらさろーのの
二二九
 きりふな
五二二
六六
 しんじり
八二
 さふさふ

三
 海らえーあんあ
二二九
二二八二
 くらさろーのの
二二九
 きりふな
五二二
六六
 しんじり
八二
 さふさふ

三二七九
ほの九
 松のね月三二七六
うはら
 んうはら
三二七八
 ぬのあうはら
うはら
 水の水うはら
うはら
 松のあうはら
うはら
 水の水うはら

三二七九
三二七八
うはら
 あうはら
うはら
 水の水うはら
うはら
 水の水うはら
うはら
 水の水うはら
うはら
 水の水うはら
うはら
 水の水うはら

六段調子



撫筆推譜集中之卷

正許裡組目錄

雲の上

薄衣

桐壺

四季の友

八段調子

乱輪古

右裏組

中許目錄

須磨
明石

末乃松

空蟬

四季子富士

雲丹弄齋

九段ノ調子

七段ノ調子

五段ノ調子

右中許

△正許裡操

雲乃上

① 雲乃上のぼのぼ

あーじー

ぬふー

それのうらたぬ

五十三ツ

① ハルケイ くらつーやゆーや
ハルケイ おとー路 ハルケイ ぶるれ
ハルケイ 物 ハルケイ たら花の ハルケイ ね
ハルケイ ね ハルケイ ささ ハルケイ せ ハルケイ け
ハルケイ んー ハルケイ ね ハルケイ ち ハルケイ ね
ハルケイ と ハルケイ ぬ
 ② ハルケイ 中 ハルケイ くに ハルケイ ぶ ハルケイ の ハルケイ ち

③ ハルケイ ち ハルケイ れ ハルケイ せ ハルケイ ん ハルケイ の ハルケイ ち ハルケイ ね
ハルケイ ー ハルケイ ち ハルケイ ね ハルケイ ち ハルケイ ね
ハルケイ ん ハルケイ の ハルケイ ち ハルケイ ね
ハルケイ ー ハルケイ ち ハルケイ ね
 ④ ハルケイ ね ハルケイ ち ハルケイ の ハルケイ ち ハルケイ ね
ハルケイ ー ハルケイ ち ハルケイ ね
ハルケイ ね ハルケイ ち ハルケイ の ハルケイ ち ハルケイ ね
ハルケイ ー ハルケイ ち ハルケイ ね

ていつの
国三月
のるに
五

くいていたか
むらりたに海へ
魚を
しこ
く月と
よ
ゆえ
乃細

六
乃家
ふれね
七
川
ら
う
す

仁にんじんいいねねててののままじじ
 かかししんんりり乃乃
 ううままいいななののなな
 ぞぞううふふきき
 ③ わわここれれががいいのの
 けけいいててののままじじ
 けけいいててののままじじ

③ 仁にんじんいいねねててののままじじ
 かかししんんりり乃乃
 ううままいいななののなな
 ぞぞううふふきき
 ③ わわここれれががいいのの
 けけいいててののままじじ
 けけいいててののままじじ

④

むくくくくくくくくくく

九七六

あれもあれもあれもあれも

ぶのぶのぶのぶのぶのぶの

かかかかかかかかかかかか

おちちちちちちちちちちちち

⑤

おの木の木の木の木の木の

あはあはあはあはあはあはあは

⑥

あはあはあはあはあはあはあは

あはあはあはあはあはあはあは

あはあはあはあはあはあはあは

あはあはあはあはあはあはあは

あはあはあはあはあはあはあは

あはあはあはあはあはあはあは

あはあはあはあはあはあはあは

てはみし
てはみし
てはみし
てはみし

桐壺

①
あつらひの
れ
と
ひ
を

②

み
に
か
を
ん

③

秋の夜
の
風
を

ね てんごうしんご
はのしんご

④ ちりちり ちりちり
るるるる

小君乃中 ちりちり
ちりちり

えれ えれ
ゆゆ

き き
あきあき

のり のり
て

⑤ ちりちり ちりちり
るるるる

ぬ ぬ
あきあき

あ あ
あきあき

若 若
あきあき

は は
あきあき

⑥ あ あ
あきあき

ち ち
あきあき

う う
あきあき

つらきしんがえさあ
花はなぐさ

四季の友

① 春はるさくらはなれはなこはなと
夏なつあじさいはなはなりはな
秋あきあきはなはなりはな
梅うめはなりはなはなりはな
のはなはなりはなはなりはな

② 流ながのはな玉たまはなりはな
かはなのはな玉たまはなりはな
みみ月つきあはなりはな
ゆゆきはなはなりはな
水みづはなりはな
③ 月つきはなりはな

①
すゝめ
くさかの国
月の名

おとつり乃夜
八段調子
乱輪舌
中許
須磨

か
秋乃夜
小とびぬ人
ほろろ
神を月
いろぬ松えん乃
みづる

ふらん
ふらん
月のおとけ

ふらん
ふらん
ふらん
ふらん

③ 春ふらん

ふらん
ふらん
ふらん
ふらん

ふらん

③ 春ふらん

ふらん
ふらん
ふらん
ふらん

④ 春ふらん

ふらん
ふらん
ふらん
ふらん

⑤ 此月の夜は涼しき
 乙女板中の新月
 清く静かに
 りゆゆと人よを
 照らす秋の月
 ⑥ 乙女板中の新月
 清く静かに
 りゆゆと人よを
 照らす秋の月

①
 月の夜は涼しき

乙女板中の新月
 清く静かに
 りゆゆと人よを
 照らす秋の月
 ① 乙女板中の新月
 清く静かに
 りゆゆと人よを
 照らす秋の月

② 此路舟にいでて
くやんらうとれをま
ふの海浜の人を
をかくと母とていふ
③ いつくかきだれを
かゝるあゝとていふ
そがそと名前の松の

をよびしつらふとていふ
かゝるあゝとていふ
④ 夫夜わつとていふ
ふんをせとていふ
ふんをせとていふ
かりのふとていふ
かゝるあゝとていふ

⑤
 庭のわらわしむらえ
 のかきかきくくくく
 じかきくくくくく
 袖のくくくくく
 かきくくく

⑥
 ちかきくくくく
 かきくくくく

①
 ちかきくくく
 ちかきくくく
 ちかきくくく
 ちかきくくく
 ちかきくくく
 ちかきくくく
 ちかきくくく

ぢふかんじの池小
 うらんのをふ
 ③ 身小こころふ枝の良
 月を隈るんは神の戸
 かくるんそるんさ
 うるのいざんあけ
 ぞうらんま

③ 中くふいさんあ
 かのしえんらん
 と人ばねてい
 しむいざんあ
 身ぞうさ
 ④ ふねぶあけ
 しふのうちとね

大のや
 つて
 五の
 七

人春んはよきこと
んやんちんわが
あはれ

⑤
はらちのまゝに
ひらひらと
らんらん
らんらんらん

たなごの
のこり
まじり
る

はらちのまゝに

⑥
らんらんらん
ゆとあつた
まのまの
はらちのまゝに
はらちのまゝに

たなごの
のこり
まじり
る

空蟬

わがやま
百箇年
の心

① 津きつるあつた電

しと 你おんのかまを

りう 津のーのま

衣ころものあしー人

あし

② につのてし中しふ

あつてつるあつた電

らうはしつるあつた電

いづらつるあつた電

とくつるあつた電

③ ちあつとわがやま

あつた電

人をつつるあつた電

あつた電

と

④

直に花と所也

しと半和をたせ

少くもなす松の

とら月たすしり

何ぞもしゆらん

⑤

おとしのりて年月

すみ
あいのせ

と物さすこころ

しとたもしり

よとて後あや

とれん

⑥

ゆとつりしり

わとつりしり

ゆとつりしり

甲午
四月
廿二日

ふんのかげりるん

四子^し子^し子^し子^し

田子^い子^こ子^こ子^こ子^こ

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

いしつぬ

① 五^ご五^ご五^ご五^ご五^ご

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

② 五^ご五^ご五^ご五^ご五^ご

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

子^こ子^こ子^こ子^こ子^こ

③ 昔の跡と聞かざる根
 林とては村はるあ
 人にしとてかゝるもど
 中しるもやなしくふ
 いもて金もるんが根
 ④ ぶみふなまじく
 ぶみふなまじく

① 月とてはつふすあ
 りつふとねまじのえ
 雲とてはつふすあ
 雲とてはつふすあ
 雲とてはつふすあ

とあはらぶ〜

② ねとむそのあ〜んんんん

し〜んんんんんんんんんんんん

不若〜んんんんんんんんんんんん

こ〜んんんんんんんんんんんん

③ けし〜んんんんんんんんんんんん

〜んんんんんんんんんんんん

ね〜んんんんんんんんんんんん

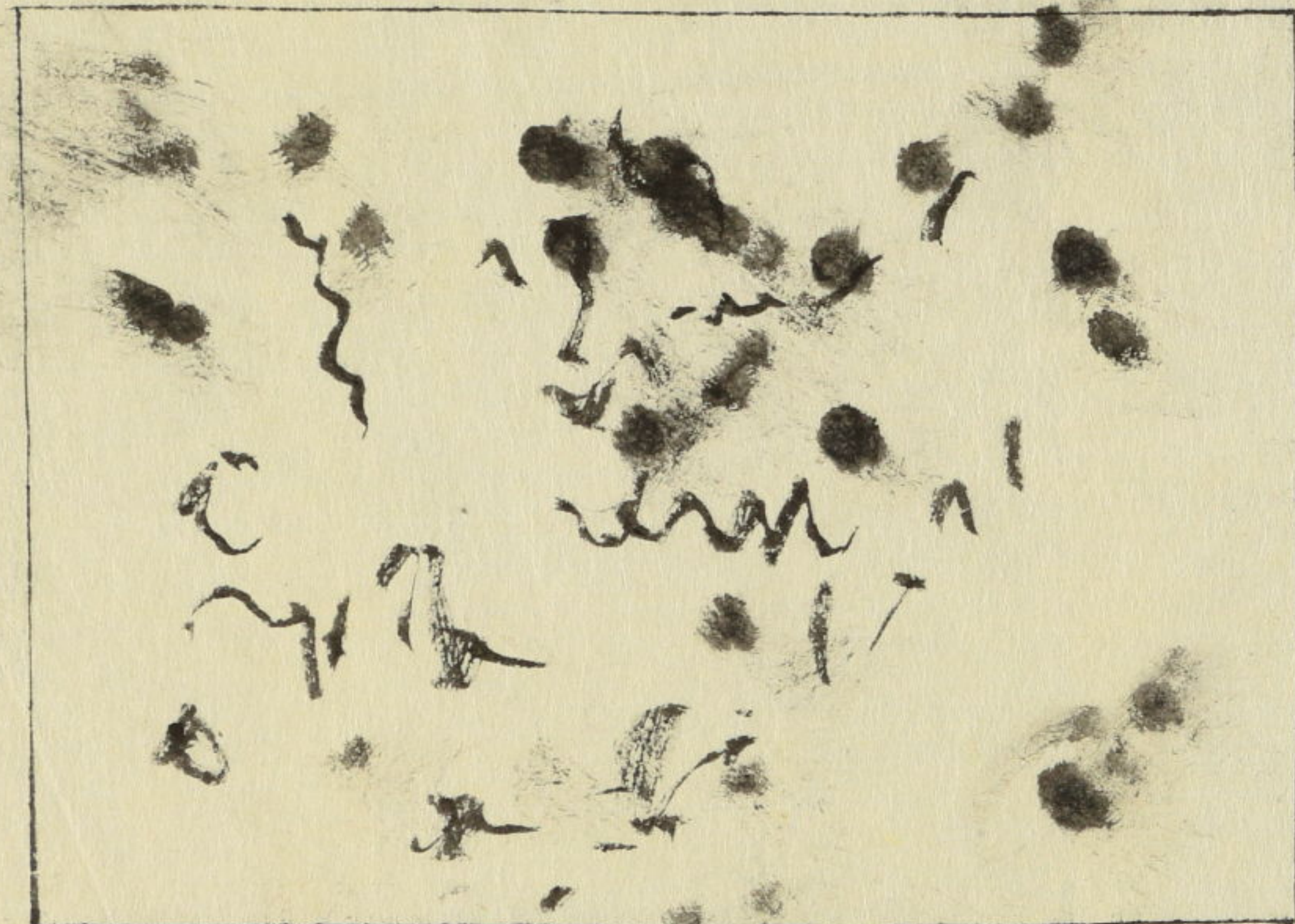
〜んんんんんんんんんんんん

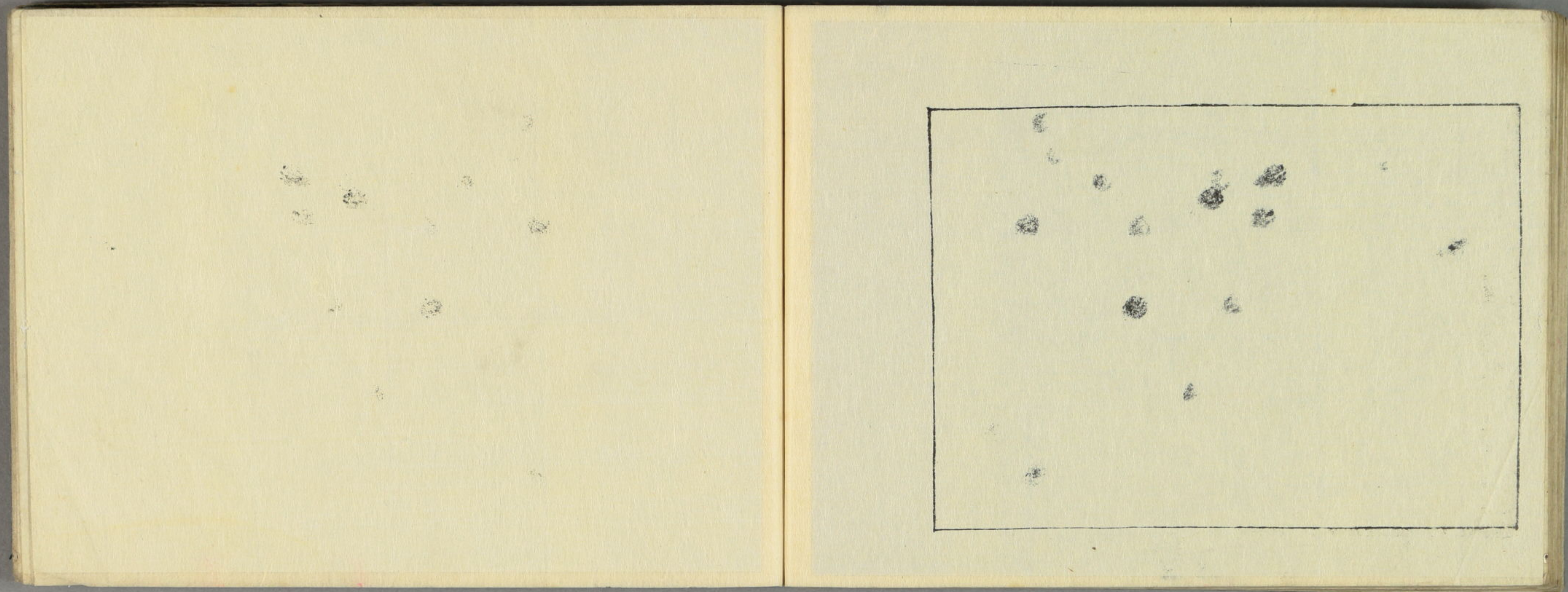
よ

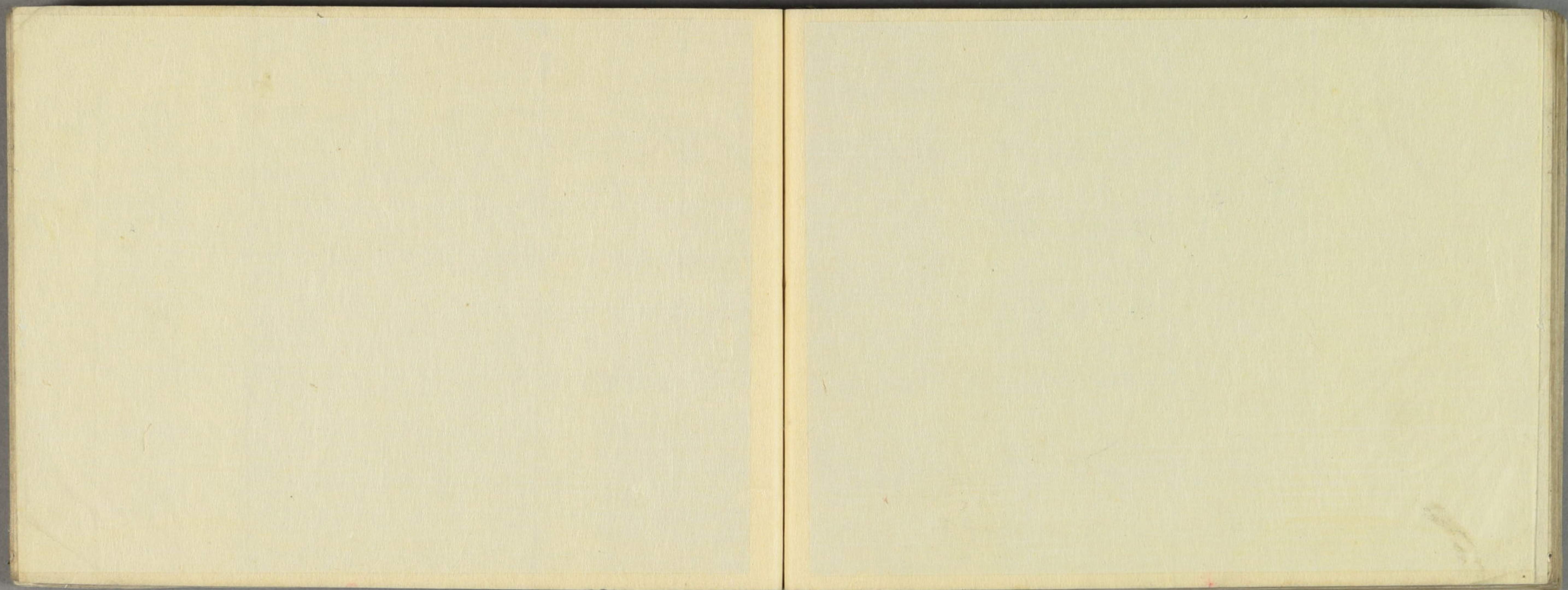
九段〜調子

七段〜調子

五段〜調子







撫箏推譜集下之卷

三曲目錄

四季子曲

扇ノ曲

雲丹曲

右三組秘事傳受事也

新組目錄

羽衣

若葉

思おも川がわ

梧き水みづ

新あらた雲うん丹の弄ら琴きん齋さい

右みぎ新あらた組ぐみ秘ひ事こと也なり

飛ひ燕えん曲きょく

此こゝ一いち曲きょく新あらた組ぐみ第だい一いち之の秘ひ事こと
傳つた受う也なり

四季しき子こ曲きょく

卷まき一いち之の曲きょく

花はな乃の妻つま乃の心こころ乃の心こころ

心こころ乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ

乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ

乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ

① 春はる之の梅うめ乃の心こころ乃の心こころ

乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ

乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ乃の心こころ

のぶすゝやぐらゝねふ
心うけまき

③

夏つゝの花さくらね
のやえんちらすけ
こ風やうぐいす
み水うんじりま
秋さとしみち原のね

③

らぐさねねねね
原かきこて夕暮の月
心うけまき
みういゝぐれ初ね
こねまじりて
夜思あふる雪
心うけまき

④

扇乃曲

① のふぎの櫻はなをる尾
 糸子もる月夜結ふ
 加はる水さつはる
 心づくるさつはる
 のふぎ

② 千花のさつはる
 のふぎ

いしせは
 花國也
 ③
 信濃國也
 丁ぬわ
 播磨國也
 四々市
 月乃君

ふしのさつはる
 身ふ家さつはる
 はふのさつはる
 ゆふがね
 しつねえやふ
 せぬアのさつはる
 さつはる

山城国也
月乃名
池

多
少
山
城
国
也

月乃りえいん

度は

④ 夏山

人

農

中

七

⑤

古

山

津

心

ん

⑥

の

山

手あひこ
かたえと極毛
こころの
国

くねくねくねくね
ふふふふふふふふ

雲井曲

① 人えんふれふり仲達と
やういひしぬ小陰奥
乃ち笑の場寛名
のふくふくそり力

はなはなはな

② じふすくやうすく我
力りく(いあ)く
あぶらふぬんさふ
とふふ若せいふふ
ふふ

③ 千波さふあふふ

うしつてを扱言ふは也
うしつてのねいさうんさ

羽衣こしほろこ

松崎の羽衣

① 君も農めくくく之陸の
大の羽衣をれいあて
りも山いぬいれまの
まふくくぬあ代り

たのしむね

② けいんをくくくせくじ
農雲の上まで長宗な
うあいんやまあ
玉潔よりくめてが
う

③ けいん山のふ川河の夕風ふ

猶山水川河左
こいん山く河国
する名水也

近江の
湖水

④
うらふらふ波の音
津の心はすくぬかぎ
花は夏はつらふ
数人きよ山人の袖
白く染まらぬ路はまほひ
中をせり秋アとる院
入ののいづらにせむ

近江の
田舎

⑥
たぐも波アふる水清
月影えく白ゆ
雲は行く勢由る
茶代もてお寺の松竹
とほほほほほほ
とほほほほほほ
とほほほほほほ
とほほほほほほ

着葉こり

① のうまのしものつ葉の

きりぎりすのうまのしものつ葉

いしころぬ袖乃を路

けりぬつらぬゆのけ

② 日向やむしづきえ

の枕吹雪は山こり

吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山
吹雪は山

かたしよるえて後

けりしつらぬゆのけ

③ いしころぬ袖乃を路

けりぬつらぬゆのけ

いしころぬ袖乃を路

いしころぬ袖乃を路

④ 日向やむしづきえ

(五) 花の影と挿しおぼよみ
 花の影と挿しおぼよみ
 花の影と挿しおぼよみ
 花の影と挿しおぼよみ
 花の影と挿しおぼよみ
 花の影と挿しおぼよみ
 花の影と挿しおぼよみ

(六) 水に流るる袖
 水に流るる袖
 水に流るる袖
 水に流るる袖
 水に流るる袖
 水に流るる袖
 水に流るる袖

いかりの川
 思ひしとき
 餘心よ

わすれぬこと

~~~~~

③ 侍衆はりぞいそがれ

と名ぞふし神のま

ごふ元々のまぬ

とくものそでとくの

るをうつさ

③ 川乃水は流るる

るが流るる水は

剣とん玉いあを

かたはるる水は

~~~~~

④ 川乃水は流るる

るが流るる水は

トウロウアム
川乃水は流るる
とて書さ
④

その様
いれを
たぐ
仔の心

⑤
しんしん 後袖を
あせふ ぬれし
まはらむ
ぬすむの床小
かたむね
り境
たぐし

①
あの方
橋
あの方
橋

わらわの
くさく

りん 潔くはやくら
川のくさく
③ 身はくさくはやくら
らん かくはやくら
あはやくらひやくら
さやくらひやくら
わやくらひやくら

③ 山はやくらひやくら
しやくらのやくら
わやくらひやくら
わやくらひやくら
と
④ わやくらひやくら
わやくらひやくら

楊の七字
字法を
しるす

じふしつねと字法
乃てふとてふはふふ
ふとてふ

⑤

ふしつねとてふ
浮ねとてふ
そとてふのふとてふ

ふとてふとてふ

⑥

そとてふとてふ
ふとてふとてふ
ふとてふとてふ
ふとてふとてふ

ふとてふとてふ

楊雲丹壽と東

いづれも山
金瓶山と云
てたかぬの
うらむを
たれども

① 月とらふ心ふかき
りれくまのしら
湯とてくま
ねのわがら
② まの逢ぬ
うらむのわら
とらふ神うら

と神の
③ まの逢ぬ
中ふらえぬ
舞うとてくま
りれくま
新組の内身ノ秘事
むらんのか
花長曲

① 久保の申すの神あり
 じしこのごし流り
 乃るふ路しとて
 きぬ所せぬん
 ② 下成てしとてし
 敷のむらり
 のしりしめのみ

③ ころ月めたふり
 ん
 ④ くれる丹のねん
 けわるしとてし
 けぬるふとてし
 雲つるの神の流り
 けつるしとてし

⑤
 春のふりさるる我
 神ぬしつゝをまら守
 けふふのぬれはこし
 ばらけの
 十はむいれはるる
 心うつゝはらむらみ
 うにさるさやわし

⑥
 春のふりさるる我
 心うつゝはらむらみ
 うにさるさやわし
 けふふのぬれはこし
 ばらけの
 十はむいれはるる
 春のふりさるる我

宝曆四年甲戌五月

書林
永田調兵衛
吉田善五郎
中村次郎兵衛
藤澤三郎兵衛
日野屋六兵衛

寬政六寅之初春
中浣於圓居亭
涑毫字書之頭
傍之名所國邑
自古書探有使
而錄記之則禿
琴幼女之不聞
而為知覺其所

之一助為端而已

圓居亭

主人

